

大門遺跡出土品旧石器時代石器・3号方形集溝墓出土品一括

(だいもんいせきしゅつどひん きゅうせつきじだいせつき・3ごうほうけいしゅうこうほしゅつどひん いっかつ)

板橋区指定有形文化財(考古資料) 平成7年3月8日指定

出土地：板橋区大門1

公開場所：赤塚七丁目埋蔵文化財整理室

交通：東武東上線「下赤塚」駅 徒歩13分

東京メトロ有楽町線・副都心線

「地下鉄赤塚」駅 徒歩15分



(旧石器時代第Ⅶ層出土石器)

大門遺跡は、国道(新大宮バイパス)建設に伴い昭和63年5月から平成元年6月まで発掘調査が実施されました。

この調査では旧石器時代から近世にかけ

て、数多くの遺構や遺物が発見されました。中でも旧石器時代は、立川ローム層第Ⅶ層出土の粘板岩製ナイフ形石器群や、同Ⅸ層出土の石器作成工程が復元できる接合資



(3号方形周溝墓出土壺形土器)

料が、また、古墳時代前期末から中期では、方形周溝墓から内部に赤色顔料が納められた壺形土器が出土するなど、学術上大変貴重な成果が得られました。